EFM-19

305540

□要

□明

EFM-19□、エストロゲン受容体陽性（ER+）のヒト乳がん細胞株であり、エストロゲンやタモキシフェンなどの抗エストロゲンが遺伝子発現に及ぼす影響を調べるために利用されてきた。この細胞株□、エストロゲン刺激に対して強い反応性を示し、それによってさまざまなエストロゲン調節性RNAの発現が調節される。 特に、EFM-19細胞□´MCF-7などの他の乳がん細胞株と比較して、エストロゲン受容体 mRNAをより高レベルで発現している。
EFM-19に関する研究により、エストロゲン制御 RNAの発現におけるその独特なプロファイルが明らかになっています。例えば、pNR-1´pNR-2´pNR-25´pNR-100といったRNA□、エストラジオールによって誘導されることが示されています。 この誘導□、中程度（pNR-100 で□ 3 倍）から著しいもの（pNR-2 で□ 100 倍以上）までさまざまです。 興味深いことに、これらのRNAのタモキシフェンに対する反応 □様々です。タモキシフェン□一部のRNA（pNR-1など）に対して□部分的なエストロゲンアゴニストとして作用しますが、他のRNA（pNR-2など）に対して□その有効性が低くなります。 したがって、この細胞株□、遺伝子調節に対するエストロゲンと抗エストロゲンの異なる影響を研究する上で有用である。
EFM-19 細胞□、乳がんの生物学におけるエストロゲンのより広範な役割を探る研究への応用でも注目されています。その発現プロファイル□、エストロゲンおよびエストロゲン受容体シグナル伝達が、腫瘍形成や治療反応にどのように影響するかを理解する一助となります。 この細胞株□´MCF-7などの他の細胞株と並んで、エストロゲンが関与するメカニズムの解明に役立ち、ホルモン療法を含む治療戦略の策定に役立つ可能性があります。

ティッシュ	乳房
病気	乳管がん
転移部位	胸水

同義語

- EFM19

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様

識別子

引用

EFM-19（Cytion カタログ番号 305540）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0253

発現と感受性

抗原発現

HER2陽性、ER++´AR++´PR++

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

変異プロファイル

変異：PIK3CA ′ p.His1047Leu (c.3140A>T)、ホモ接合型；変異：TP53 ′ p.His193Arg (c.578A>G)、ホモ接合型

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に20％FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml ′ T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml ′ T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

流体の更新	融合培養□週に2回分割する。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□ ′ PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	50年

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた □安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB